

のり海況速報 第4報 (26-4)

平成26年11月12日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 11/7：内湾(ふさなみ)、11/4：内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(10/28-11/12)、東京湾口海況図(10/28-11/12)
 自動観測ブイデータ(10/28-11/12)、拓南観測データ(10/28-11/12)
 モニタリングポスト(11/7：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(10/20)よりも約1~2℃低下し、おおむね18~19℃台になっています。塩分はほぼ30~32台前半で、平年並みからやや高めになっています。
- ・内房北部の表層水温も19℃台まで下がっています。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温は表層と底層の温度差が前回よりも小さくなっています。塩分は内湾中央部の底層付近まで34以上の水塊が依然みられていました。
- ・東京湾口への沖合水の流入はいまのところ少ない模様です。

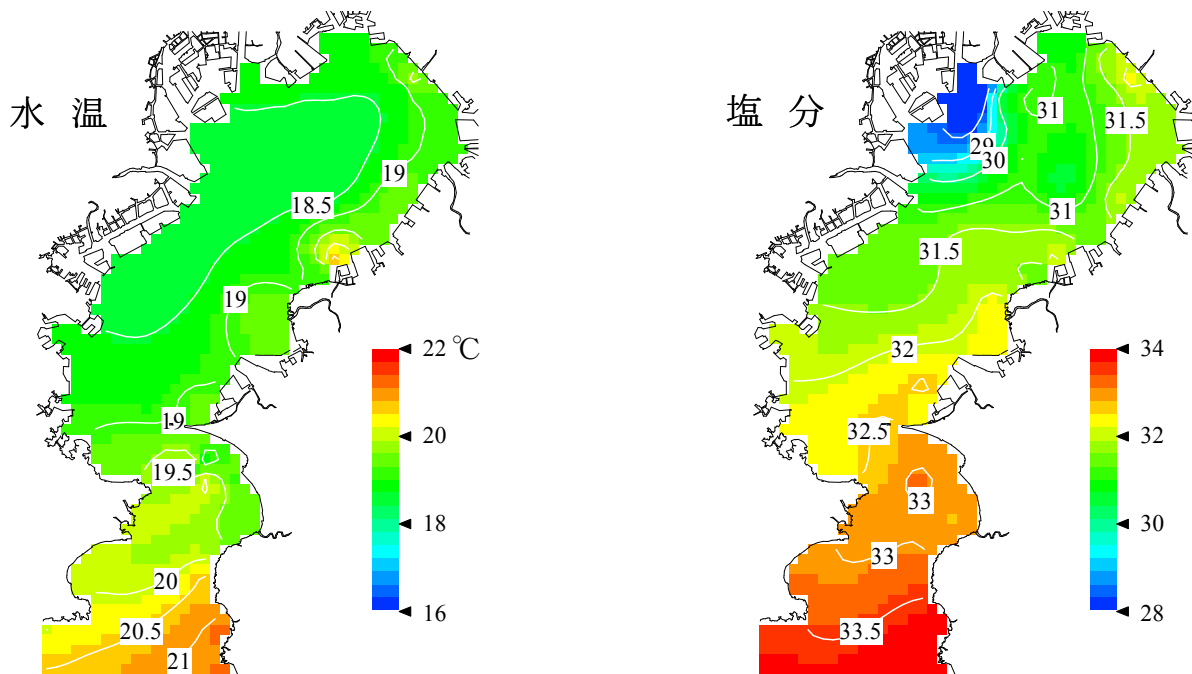


図1 表層の水温・塩分の分布(平成26年11月4-7日)

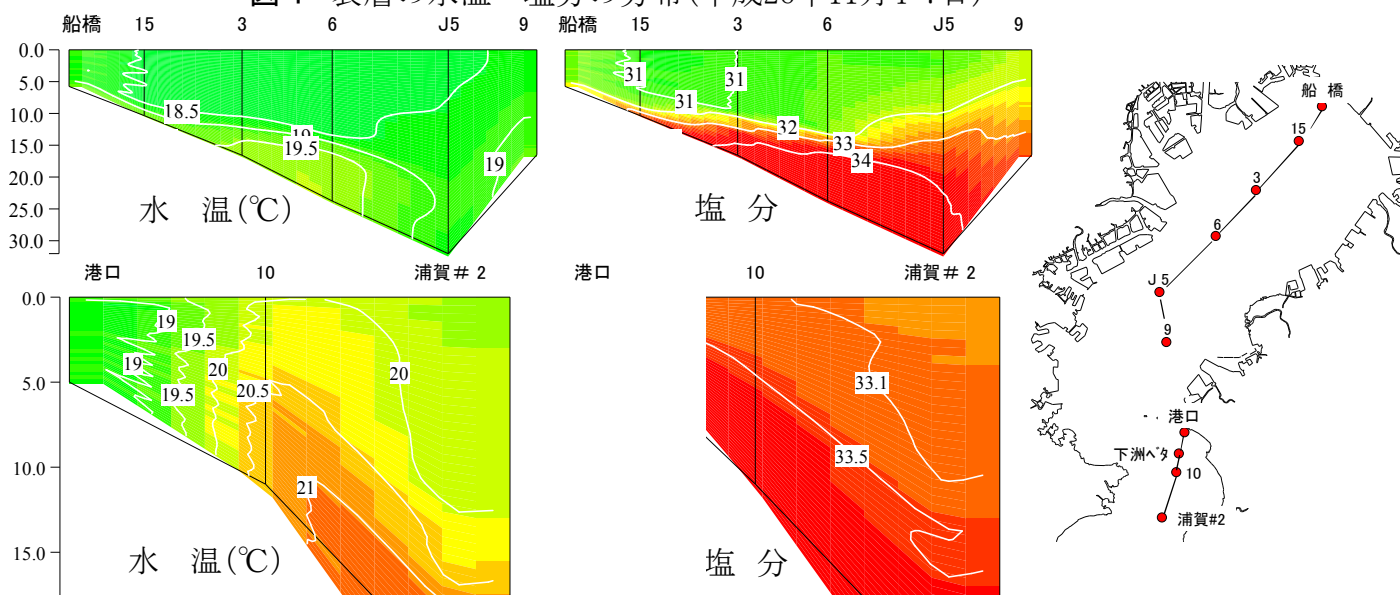


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成26年11月4-7日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は全域で発生していませんでした。
- プランクトンは少なく、ケイ質鞭毛藻のディクチオカが内湾で、ケイ藻のキートケロスが内房北部でやや多くみられる程度でした。透明度は内湾北西部でやや低いところがみられましたが、おおむねで4m以上あり、水色もほぼ黄緑色です。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)・リン(D I P)とも内房北部でやや少なくなっているものの、いまのところのり養殖にとって問題ない濃度です。

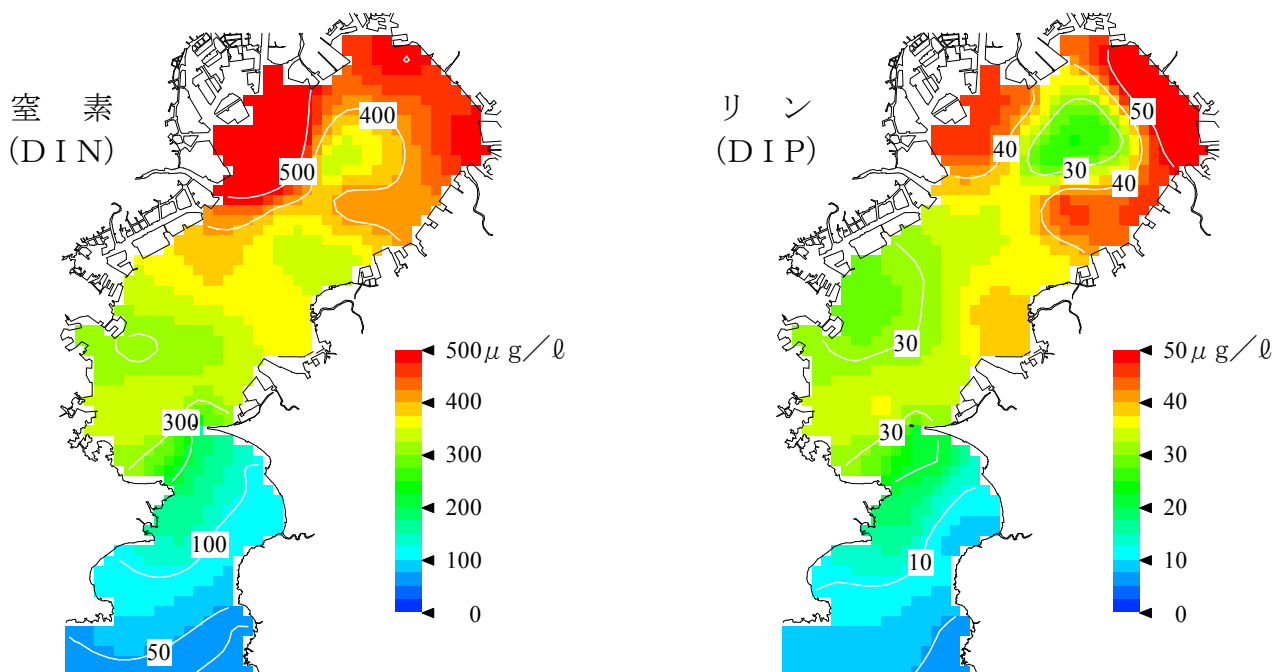


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成26年11月4-7日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html